



【MM ELd療法(1, 2コース目)について】  
(エムプリシティ+レブラミド+デキサメタゾン)



様



コース目

☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
デカドロン錠(28mg/body)	副作用を抑える薬です	めやすの時間 3~24時間前 に内服																														
アセトアミノフェン錠 ニボラジン錠	副作用を抑える薬です	30~90分前に 内服																														
デキサート注(8mg/body)	ステロイドです	15分																														
生理食塩液	生理食塩液です	45分																														
エムプリシティ注(10mg/kg)	抗がん剤です	3~6時間																														
レブラミドカプセル (25mg/body)	抗がん剤です	1日1回内服																														

1錠ずつ

1回5C

☺ **治療による副作用**

注意が必要な時期

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目		
自覚症状	アレルギー様症状	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんま疹、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせください。																															
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がするがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																															
	不眠	寝つきが悪くなる時があります。症状があるときはお知らせください。																															
	胃部不快感	胃の痛みやゲップ、むかつき、腹部膨満感、食欲がないなど、気になる症状があるときはお知らせください。																															
	便秘	水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																															
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水のような便が出る時はお知らせ下さい。																															
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																															
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																															
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																															

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 心臓・血管への影響(高血圧、胸の圧迫感、足のむくみ)
- 皮膚(皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。)
- 咳・息切れ・息苦しさ

※実際の投与スケジュールと異なる場合があります。

本資料は参考としてお使いください

国家公務員共済組合連合会  
大手前病院



\* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。  
 \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。  
 \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。  
 \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。